

平成20年度 岐阜県高等学校総合体育大会バスケットボール競技
兼東海・全国高等学校総合体育大会岐阜県予選会
3日目:平成20年5月31日(土)
会場:岐阜メモリアルセンターふれ愛ドーム・大垣市総合体育館

男子の部

<審判>

Aブロック 決勝	岐阜総合	92	$\begin{bmatrix} 24 - 15 \\ 32 - 13 \\ 11 - 17 \\ 25 - 25 \end{bmatrix}$	70	富田	室谷伸治・長屋 貴
Bブロック 決勝	美濃加茂	90	$\begin{bmatrix} 13 - 16 \\ 18 - 4 \\ 40 - 7 \\ 19 - 22 \end{bmatrix}$	49	高山西	大江裕之・棚橋英一
Cブロック 決勝	中津川工	92	$\begin{bmatrix} 22 - 15 \\ 32 - 13 \\ 17 - 12 \\ 21 - 27 \end{bmatrix}$	67	斐太	小牧秀則・角平和優
Dブロック 決勝	岐阜農林	92	$\begin{bmatrix} 20 - 7 \\ 22 - 9 \\ 32 - 10 \\ 18 - 19 \end{bmatrix}$	45	土岐商	菅野 浩・宮崎泰彦
決勝リーグ	岐阜総合 (1勝)	83	$\begin{bmatrix} 20 - 16 \\ 20 - 16 \\ 23 - 9 \\ 20 - 14 \end{bmatrix}$	55	美濃加茂 (1敗)	増田博徳・山田祐治

岐阜総合ハーフコート3-2ゾーン、美濃加茂オールコートマンツーマンでスタートする。岐阜総合はディフェンスでよく動き、攻めでは 田代のドライブ、3点シュート、長尾のドライブで8-0とリードを奪う。美濃加茂は 横家のジャンプシュート、宮嶋の3点シュートで反撃する。第1ピリオドは岐阜総合が20-16とリードする。第2ピリオドに入り、美濃加茂はターンオーバーが続き、岐阜総合は相手のミスを実に得点につなげて突き放す。前半を終わって、40-32と岐阜総合がリードする。

後半に入り、岐阜総合はディフェンスから速攻につなげて、田代、長尾、寺井が得点して、54-36と一気に突き放す。美濃加茂は、小川が3点シュートを決めるが流れは変わらない。第4ピリオドに入っても岐阜総合の勢いは止まらない。岐阜総合は厳しいプレッシャーからボールを奪い、長尾が速攻で常に最前線を走り4連続ゴールを決めて試合を決定づける。美濃加茂はゾーンプレスで前線からボールを奪いにいくが、突破される。最後は岐阜総合が83-55で勝利し、決勝リーグの1勝目をあげた。岐阜総合の厳しいディフェンスからの速攻が光るゲームであった。(野々村浩二)

決勝リーグ	岐阜農林 (1勝)	97	$\begin{bmatrix} 28 - 11 \\ 30 - 23 \\ 14 - 26 \\ 25 - 16 \end{bmatrix}$	76	中津川工 (1敗)	松野瑞穂・高橋英彦
-------	--------------	----	--	----	--------------	-----------

第1ピリオド、両チームともハーフコートマンツーマンでスタートする。岐阜農林は 滝沢の連続3点シュートなどで開始2分で10-0とリードを奪い、されに 今井のドライブなどでリードを広げる。落ち着きを取り戻した中津川工は 田口の3点シュートで応戦する。第1ピリオドは岐阜農林が28-11とリードする。第2ピリオドに入っても流れは変わらず、岐阜農林は 滝沢、下瀬の3点シュートやドライブで次々に得点を重ねるのに対し、中津川工は途中からゾーンプレスを仕掛けるなどするも点差は縮まらない。前半は岐阜農林が58-34と大きくリードを奪う。

第3ピリオドに入ると、流れは中津川工に移り、田口の3点シュート、和田井のドライブと着実に得点をあげ、一時は9点差まで追いつける。しかし、第3ピリオド終了間際、岐阜農林 下瀬がスティールからの速攻、さらにスローインをインターセプトし3点シュートを決め押し戻す。第4ピリオドに入ると、岐阜農林は再び激しいディフェンスから速攻へとつなぎ、川崎、加藤剛のシュートが決まって点差を広げ、最後は岐阜農林が97-76として決勝リーグ1勝目をあげた。中津川工も 谷本が最後まで粘ってシュートを決めたが、最後は走り負けた形となった。(下野宗紀)

女子の部

< 審判 >

Aブロック 決勝	岐阜女子	93	$\begin{bmatrix} 20 - 12 \\ 25 - 4 \\ 25 - 8 \\ 23 - 6 \end{bmatrix}$	30	長 良	下村勝彦・三浦広和
Bブロック 決勝	岐阜総合	77	$\begin{bmatrix} 11 - 15 \\ 24 - 7 \\ 19 - 16 \\ 23 - 26 \end{bmatrix}$	64	大垣商	小泉純子・古田 怜
Cブロック 決勝	高山西	98	$\begin{bmatrix} 24 - 16 \\ 29 - 16 \\ 34 - 14 \\ 11 - 24 \end{bmatrix}$	70	中 津	小森邦宏・名越龍男
Dブロック 決勝	県岐阜商	107	$\begin{bmatrix} 25 - 4 \\ 34 - 13 \\ 25 - 11 \\ 23 - 14 \end{bmatrix}$	42	土岐商	清水 潤・岡田 文
決勝リーグ	岐阜女子 (1勝)	91	$\begin{bmatrix} 25 - 7 \\ 18 - 10 \\ 34 - 0 \\ 14 - 18 \end{bmatrix}$	35	岐阜総合 (1敗)	三浦 潔・赤石恵美子

両チーム、ハーフコートマンツーマンでスタートする。岐阜女子は 上原のパス、ドリブルを起点に 汪にボールを集めてオフェンスを組み立て得点を重ねる。岐阜総合は 尾関のカッティングで応戦するが、シュートが決まらず苦しい展開となる。第1ピリオドは岐阜女子が18点のリードを奪う。第2ピリオド、岐阜女子は厳しいディフェンスでボールを奪うと速攻に走り、森本、宮部が次々にシュートを決める。岐阜総合はイージーミスを連発しシュートまで持ち込めない。前半を終わり岐阜女子が43-17と26点のリードを奪う。

第3ピリオドに入ると、岐阜女子は 汪がポストプレー、オフェンスリバウンドから次々と得点を重ね、上原、宮部のドライブも効果的に決まり相手を圧倒する。岐阜総合は相手のスピード、高さに押されたまま反撃の手だてを失い、このピリオドは無得点に終わる。第4ピリオドに入ると、岐阜女子はベンチメンバーを全員投入し、荒井のジャンプシュート、中村の3点シュートなどで得点をあげ、岐阜女子が91-35と圧勝して、決勝リーグの1勝目をあげた。岐阜総合もようやく自分たちのリズムを取り戻し、前田のドライブ、日比のジャンプシュート、野倉のリバウンドシュートで反撃するが、追いつけるまでには至らなかった。(三浦広和)

決勝リーグ	高山西 (1勝)	90	$\begin{bmatrix} 17 - 11 \\ 26 - 27 \\ 31 - 17 \\ 16 - 16 \end{bmatrix}$	71	県岐阜商 (1敗)	相宮俊郎・岩永英夫
-------	-------------	----	--	----	--------------	-----------

両チームともハーフコートマンツーマンでスタートする。立ち上がり両チームともシュートが入らず膠着状態が続く。高山西は 武のポストプレーを中心に攻め、県岐阜商も 羽賀のポストプレーで応戦する。第2ピリオド、高山西は 岩畑、 浅生のドライブ、ミドルシュート、県岐阜商は 山田のシュートで得点を重ねる。両チームともディフェンスのプレッシャーを強め、相手のミスを誘う。県岐阜商はターンオーバーから 吉田、 渡邊のシュートで点差をつめるが、高山西は 武の連続シュート、 岩畑の3点シュートで得点を伸ばす。前半は互角の展開となり、高山西が43-38と5点リードで折り返す。

第3ピリオド、高山西が 井上の3点シュート、 武のポストシュートでリードを広げる。県岐阜商も必死に食い下がるが相手のディフェンスを攻めきれず、ターンオーバーを繰り返す。高山西は 浅生、 岩畑が次々とシュートを決め点差を一時30点まで広げ、第3ピリオドを19点差で終了する。第4ピリオド、高山西は 武の5連続得点でさらに突き放す。結局、 武(191cm)の高さを活かした高山西が、第3ピリオドで得たリードを守って90-71で勝利し、決勝リーグの1勝目をあげた。県岐阜商は、ディフェンスのプレッシャーを強め3点シュートで応戦するが及ばなかった。(矢追雄一)